

兵庫県博物館協会 2022年度 上半期 展覧会スケジュール(2022年4月1日時点)

中播磨地区

市区町名	施設名	展覧会名	内容	開幕日※	閉幕日※	4月	5月	6月	7月	8月	9月
姫路市	〔公財〕圓山記念日本工芸美術館	館蔵品展 「日本の工芸に見るデザイン 1」	日本の工芸の匠、人間国宝や名工達の高度な技によって生み出された優れた多岐の分野にわたる工芸作品(染織、陶芸、漆工、和紙、竹工、木工、金工、ガラス等)を、紹介します。	4月	6月	■	■	■			
		館蔵品展 「日本の工芸に見るデザイン 2」		6月	7月			■	■	■	
		館蔵品展 「日本の工芸に見るデザイン 3」		9月	10月						■
姫路市	姫路科学館	自然災害と防災展	いつ起こるか分からない自然災害のしくみを知り、乗り越えるために必要な事を身につけましょう。	4月29日	5月29日		■	■			
		夏のむし・ムシ大集合9	身近な昆虫の標本や生体の展示、世界の昆虫の標本の展示を通じて、昆虫の多様性や生態を紹介します。	6月18日	7月4日			■			
		ドキドキ！お化け屋敷探検隊	科学館にお化け屋敷が出現します。中を探検してみましょう！（日程が変更になる可能性があります）	7月30日	8月29日					■	■
姫路市	姫路市書写の里・美術工芸館	春季特別展 姉妹都市提携50周年・鳥取の美術工芸と民藝	姉妹都市提携50周年を迎えることを記念し、鳥取市の美術工芸や歴史資料、県下の民藝、郷土玩具など約60点を展示紹介する。	4月16日	6月12日		■	■	■		
		青森県の諸玩具	金魚ねぶた、八戸の八幡馬、弘前の土鈴など約80点を展示。	4月20日	8月18日		■	■	■	■	■

市区町名	施設名	展覧会名	内容	開幕日※	閉幕日※	4月	5月	6月	7月	8月	9月
		夏季特別展 日本陶芸美術協会 姫路展	2012年に設立された「日本陶芸美術協会」による公募展。重要無形文化財保持者(人間国宝)を含む会員作品を中心に、公募審査による入選作など約70点を集め、優れた陶芸作品を一堂に会する。	6月18日	8月28日						
		神奈川県 の 諸玩具	伊勢原の大山こま、鶴岡八幡宮や円覚寺の土鈴など約80点を展示。	8月20日	12月15日						
		特別展 2022年播磨工芸美術展	「播磨工芸会」による陶芸・染織・漆芸・革工芸の新作約30点を展示。併せて工芸分野の作品を広く公募し、審査のうえ優秀作品を展示する公募部門を設け、新人工芸作家の育成・発掘を図る。	9月3日	10月23日						
		所蔵品展1 清水公照すみ・いろ・つち	当館初代名誉館長で姫路市出身の清水公照は、奈良東大寺最高位の別当を務め「すみ・いろ・つち」と題し書や墨画、泥仏(どろぼとけ)と呼ばれる陶芸作品を制作した。これらの中から名品を紹介する。	9月3日	10月23日						
姫路市	姫路市立水族館	「水族館の仕事」(仮称)	自然保護や教育など社会的役割を果たすための水族館や飼育員の仕事について、その舞台裏などを紹介する。	7月	9月						
姫路市	姫路市立手柄山温室植物園	サクラソウ展	緑の相談所と共同で約50種100点を展示します。販売もごさいます。	4月9日	4月17日						
		西洋アジサイ展	西洋アジサイを中心に約50種200点展示します。4月9日(土曜)・10日(日曜)は抽選で各日50名にアジサイの苗をプレゼントします。期間中の日曜11時から展示説明会を開催予定。販売もごさいます。	4月9日	4月24日						
		サボテンと多肉植物展	サボテンや多肉植物を約50種150点展示します。販売もごさいます。	4月29日	5月8日						
		サラセニアと食虫植物展	食虫植物を100点以上展示します。販売もごさいます。	5月14日	5月29日						

市区町名	施設名	展覧会名	内容	開幕日※	閉幕日※	4月	5月	6月	7月	8月	9月
		播磨の絶滅危惧種展	地域固有植物や植物園で系統保存している絶滅危惧種約100点を展示します。	5月14日	5月29日						
		洋ラン原種展	カトレア、パフィオペディラムなど日常あまり見ることのない様々な原種を約100点展示します。販売もごさいます。	6月4日	6月12日						
		古典植物と山野草展	フウキランやおモト、ナンテンなど代表的な古典植物をはじめ風情あふれる山野草など約50種100点を展示します。販売もごさいます。	6月18日	6月26日						
		夏のペゴニア展	木立ペゴニアなど約50種150点展示します。販売もごさいます。	7月2日	7月10日						
姫路市	姫路市立美術館	野田弘志 真理のリアリズム	野田弘志(1936-)は日本のリアリズム絵画を代表する画家の一人です。その作品は存在そのものを永遠に画面の中に閉じ込めたかのよう。本展では最初期から近作までを一堂に展示し、その画業の全容を回顧します。	7月2日	9月4日						
		杉本博司展 本歌取り	優れた古歌の一部を引用し作歌する和歌の技法「本歌取り」こそが日本文化のありようだと考える杉本博司が、千利休の「見立て」やデュシャンの「レディメイド」を参照し、独自の解釈を加え新たな世界を構築します。	9月17日	11月6日						
		ザ・ミュージアム・コレクション・ミーツ・スギモト 本歌取り式	招聘作家独自の視点から館藏品に光を当て、学芸員のキュレーションによりコレクションを再検証する本展では、杉本博司の「本歌取り」を採用して既存の解釈の更新を試み、コレクションの新たな魅力を掘り起こします。	11月19日	1月15日						
		第76回姫路市美術展	兵庫県内で最も古い公募展です。応募作品から入選・入賞作品を公開します。	2月18日	3月5日						
		杉本博司展 五輪地水火風空	通常是非公開の書寫山園教寺・常行堂(国指定重要文化財)において「阿弥陀如来坐像」(国指定重要文化財)と杉本作品「光学硝子五輪塔」によるインスタレーションを行います。	4月29日	8月31日						

市区町名	施設名	展覧会名	内容	開幕日※	閉幕日※	4月	5月	6月	7月	8月	9月
		中谷芙二子 霧の彫刻	“霧のアーティスト”として知られる中谷芙二子氏の《霧の彫刻》を美術館前庭に展開します。本プロジェクトでは、姫路城・美術館建物・庭園が生み出す三位一体の景観を《霧の彫刻》によってアート作品化します。	5月3日	2月28日						
姫路市	姫路文学館	特別展「生誕100年記念 山田風太郎展」	忍法帖シリーズで一世を風靡し、『八犬伝』『人間臨終図巻』『警視庁草紙』など多くの名作を生み出した山田風太郎。生誕百年を記念し、直筆資料や愛蔵品と作品の紹介を中心に、風太郎の生涯と作品の魅力に迫ります。	4月16日	6月5日						
		特別展「とびだせ！長谷川義史展」	ダイナミックな筆致とユニークな登場人物が特徴の絵本作家長谷川義史氏の世界を紹介する展覧会。イラストレーター時代やデザイナー時代の作品、立体作品、スケッチブック等、多角的な展示で長谷川氏の魅力に迫ります	6月25日	9月4日						
姫路市	兵庫県立歴史博物館	巡回展「“ひょうご五国”歴史文化キャラバン」	施設・設備大規模改修にともなう休館中の令和3年度から4年度にかけて、旧五国それぞれの地域の社会教育施設を会場として、五国の歴史と文化を概観する巡回展示を開催します。会場は豊岡市立歴史博物館です。	4月29日	6月14日						
		巡回展「“ひょうご五国”歴史文化キャラバン」	施設・設備大規模改修にともなう休館中の令和3年度から4年度にかけて、旧五国それぞれの地域の社会教育施設を会場として、五国の歴史と文化を概観する巡回展示を開催します。会場は洲本市立淡路文化史料館です。	7月16日	8月21日						
		巡回展「“ひょうご五国”歴史文化キャラバン」	施設・設備大規模改修にともなう休館中の令和3年度から4年度にかけて、旧五国それぞれの地域の社会教育施設を会場として、五国の歴史と文化を概観する巡回展示を開催します。会場は赤穂市立歴史博物館です。	9月10日	10月18日						
姫路市	三木美術館	『建物のある風景』 『備前 -土と炎の結晶-』	佐伯祐三や荻須高德、平山郁夫などの近代画家たちが描いた、建物から歴史や人々の暮らしが感じられる作品の数々を、陶磁器では備前焼の初の人間国宝である金重陶陽をはじめ、歴代の人間国宝の作品をご紹介します。	3月2日	5月29日						
		『涼風便りー絵画・工芸品より「涼」をお届けしますー』	水辺の風景を描いた絵画や青磁や染付、藍色の耀彩、ガラスなど当館所蔵の作品から皆様に涼やかな風をお届けします。	6月1日	8月28日						
		『パリへの憧れ』 『色絵 -陶磁器を彩る色の世界-』	岡田三郎助や荻須高德など、パリ留学を経て作風に影響を与えられた画家たちの作品を一挙に公開します。陶磁器では、十二、十三、十四代酒井田柿右衛門や十三代今泉今右衛門の作品を中心に色絵磁器の魅力に迫ります。	8月31日	11月27日						

市区町名	施設名	展覧会名	内容	開幕日※	閉幕日※	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
福崎町	福崎町立神崎郡歴史民俗資料館	開館40周年記念 PLAYBACKれきみん	歴史民俗資料館は本年で開館40周年を迎えます。本展では、当館の行ってきた活動を写真や資料、データをとおして振り返るとともに、選りすぐりの過去の展示の復刻も試みます。	4月23日	5月31日																		
福崎町	福崎町立柳田國男・松岡家記念館	松岡映丘画稿展 「映丘が愛した鎧兜」	松岡映丘(本名:輝夫)は柳田國男の末弟で、近代大和絵の革新に大きく寄与した日本画家です。本展では、映丘がこよなく愛した鎧兜に着目し、その表現に迫ります。	4月9日	6月5日																		

※日程が未確定のものは、開催月のみ記載。